

経営体育成基盤整備事業 みつや 三津屋 地区



三津屋地区

事業目的

- ・農地の大区画化や老朽化した末端農業水利施設の更新整備を実施し、効率的な営農を可能に実施。
- ・将来の農業生産を担う経営体(担い手)への農地の集積を推進し、大規模な農業経営の実現を図ることを目的。
- ・本事業により、意欲ある農業者が活躍できる基盤整備を推進し競争力のある農業の実現を目指したもの。

地区概要

所在地：東近江市三津屋町
 主要工事：区画整理 52.6 ha
 総事業費：649百万円
 工期：平成22年度～平成30年度

事業実施状況

- ・小区画(10a)であった農地の区画形質(1ha標準)が改善
 → 高性能機械の導入による農作業の効率化
- ・用排水路整備により適正な水管理
 → 水稲以外の大豆・小麦・高収益野菜の生産促進

地域の方々の声

本事業を契機に、高収益野菜のはくさいの作付面積の拡大、**新規作物として「スグキ」の作付を開始**、加工し、京都の市場で「すぐき漬け」として高値で取引いただいている。

事業の効果

・効率的な農業経営

事業完了後、集落営農法人が設立され、**大型機械の導入**や農地集積が促進された。

現在、地域の大部分の**農地が担い手**(集落営農法人や認定農業者)に**集積**され、生産性の向上が図られている。さらに、**高収益野菜(はくさい・スグキ)**の作付にも取り組まれている。

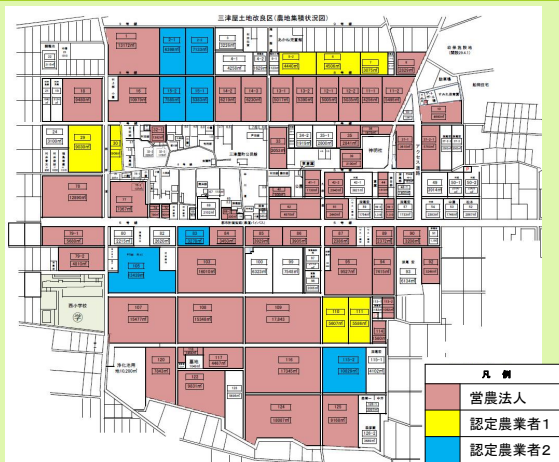
作付面積(野菜関係) ※はくさい・スグキ

事業前(H24)	計画(H27)	現在(R6)
3.6 ha	4.5 ha	6.3 ha

農地の利用集積状況(集積率)

事業前(H24)	計画(H27)	現在(R6)
33.9 %	76.2 %	83.7 %

集落営農法人の効率的な農業経営



大型機械による小麦の収穫(作業時間の短縮)



スグキ



はくさい



整備前



整備後

効率的な営農が可能となった大区画ほ場

今後の課題

地区内において、浄化池施設の水辺環境施設が整備され、管理体制を再構築した。高齢化が進む中で、農業者と地域住民が共同し、農業用施設の管理を含めた作業が継続できるよう管理体制の強化が必要である。